

「原著」「資料」「展望」の各論文の執筆・投稿の仕方

1. 本誌に投稿される論文は、高齢者を対象とした、あるいは、関連した内容のものであり、行動科学的な観点から書かれた未発表のものに限ります。他の学会誌に同一の内容を重ねて投稿する二重投稿は認めません。
2. 投稿論文の種類は、「原著・研究報告」「資料・研究ノート」「原著・実践報告」「資料・実践ノート」「展望」です。
3. 執筆にあたっては、詳細は本会ホームページ掲載の「学会誌執筆・投稿マニュアル」に従ってください。用紙の大きさは、A4版縦置きとし、1頁は1,200字（40字×30行）、横書きとします。原則として常用漢字、新かなづかい、数字は算用数字を用いて下さい。
4. 論文の執筆にあたっては、下記の執筆要項に準拠して下さい。

＜原著・実践報告＞＜資料・実践ノート＞

- (1) ＜原著・実践報告＞では、高齢者に対する単なるケアの報告ではなく、下記の2つの要件を満たすようにしてください。
①仮説検証型であること、②仮説の設定、仮説の検証等がデータ（質的・量的）等ならんかの根拠に基づいていること。
上記の基準が十分に満たされない場合、＜資料・実践ノート＞での投稿をおすすめします。
- (2) 論文の長さは、原則として本誌12頁までとします（20,000字以内）。図表分もこの中に含まれますので、その大きさを換算して、全体の制限ページを超えないように注意して下さい。
- (3) 論文はできる限り、①はじめに、②事例の概要、③事例の分析、④事例への対応（介入）、⑤結果（経過）、⑥考察、の各部分から構成されるようにして下さい。
- (4) 本誌発行の主旨の1つに「ケア」と「研究」との接点を求めるということがあります。したがって、論文の最後に、「研究へのサジェスション」として1つの項を設け、実践を深めるために今後どのような研究を期待するか、本論文から研究へ示唆すること等について言及して下さい。
- (5) 事例については、プライバシー保護のため個人が特定できないようご配慮下さい。

＜原著・研究報告＞＜資料・研究ノート＞

- (1) ＜原著・研究報告＞＜資料・研究ノート＞は、高齢者あるいは高齢者に関連した研究の報告をして下さい。よりオリジナリティの高い論文が、原著論文となります。
- (2) 論文の長さは、原則として本誌12頁までとします（20,000字以内）。図表分もこの中に含まれますので、その大きさを換算して、全体の制限ページを超えないように注意して下さい。
- (3) 論文はできる限り、①問題②方法③結果④考察の各部分から構成されるようにして下さい。
- (4) 本誌発行の主旨の1つに、「ケア」と「研究」との接点を求めるということがあります。したがって、論文の最後に、「実践へのサジェスション」として1つの項を設け、本研究が現場、実践、実生活へとどのような点でいかされるか、示唆しうるかという点について言及して下さい。

＜展望＞

- (1) ＜展望＞では、特定の研究主題や分野に関する内外の諸研究を広く検討し、独自の観点から、研究成果の概説と論評、また、研究の現状と課題などの報告をしてください。
- (2) 論文の長さは、原則として本誌24頁までとします（40,000字以内）。図表分もこの中に含まれますので、その大きさを換算して、全体の制限ページを超えないように注意して下さい。

5. 論文の表紙には、＜原著・実践報告＞＜資料・実践ノート＞＜原著・研究報告＞＜資料・研究ノート＞＜展望＞の区別、表題、所属、氏名を記載して下さい。また、それぞれの英文を併記して下さい。
6. 論文の2枚目には、概要を示す400字以内の要約とキーワード（5語以内）を記載して下さい。また、それぞれの英文（abstract（200words以内）、key words）も併記して下さい。
7. 引用文献は、本文の終わりに「引用文献」として、著者名のアルファベット順に一括して記載して下さい。記述形式は、雑誌の場合、著者名、発行年度（西暦）、論文名、誌名、巻、記載ページの順として下さい。単行本の場合、著者名、発行年度（西暦）、書名、出版社名の順で記載して下さい。
8. 謝辞等を記載する場合、別紙として下さい。
9. 原稿は、4部提出して下さい。eメールの添付ファイルで投稿される場合、原稿の郵送は不要です。

*詳細については、本会ホームページ掲載の「学会誌執筆・投稿マニュアル」をご参照ください。また、不明の点は、編集事務局までお問い合わせ下さい。